

ご挨拶

10. 21国際反戦デー県民集会にご参加された仲間の皆さん、本当にご苦労さまです。皆さんの日頃のご活躍に心から敬意を表しますと共に、ご支援・ご協力を賜っておりますことに深く感謝を申し上げます。

日米軍事同盟強化の一環として、オスプレイが7月23日に米軍岩国基地に搬入され、今月1日には普天間飛行場に配備されました。沖縄では、県議会と宜野湾市議会をはじめ県内の全41市町村議会でオスプレイ配備に反対する決議や意見書が議決されています。しかし、日本政府は「米軍の配備計画に口は出せない」と静観し、アメリカ政府の配備強行に追従しています。オスプレイの危険性や環境への影響に関する県民の不安を何ら払拭できないまま、配備を強行することは言語道断であり、断じて受け入れることはできません。社民党は、沖縄県民の明確な意思を無視し、オスプレイ配備を強行したことに強く抗議すると共に、直ちに配備を撤回することを重ねて要求します。

さらに、去る16日には、またもや米兵による女性への暴行事件が起きました。軍隊とは、人間としての理性を否定しなければ存在できない組織ゆえ、人権を蹂躪する蛮行が繰り返されるのです。社民党は、今回の事件に強い怒りを持って抗議すると共に、米軍の日本からの撤退を改めて要求します。

結びに、私と社民党は皆さんと固く連携し、平和と暮らしを守るために国会内外の闘いに全力を尽くします。皆さんのご理解とご支援をお願い申し上げますと共に、さらなるご奮闘を心からお祈り申し上げ、激励と連帯のご挨拶と致します。共に、頑張りましょう。



参議院議員・社民党副党首 又市 征浩

